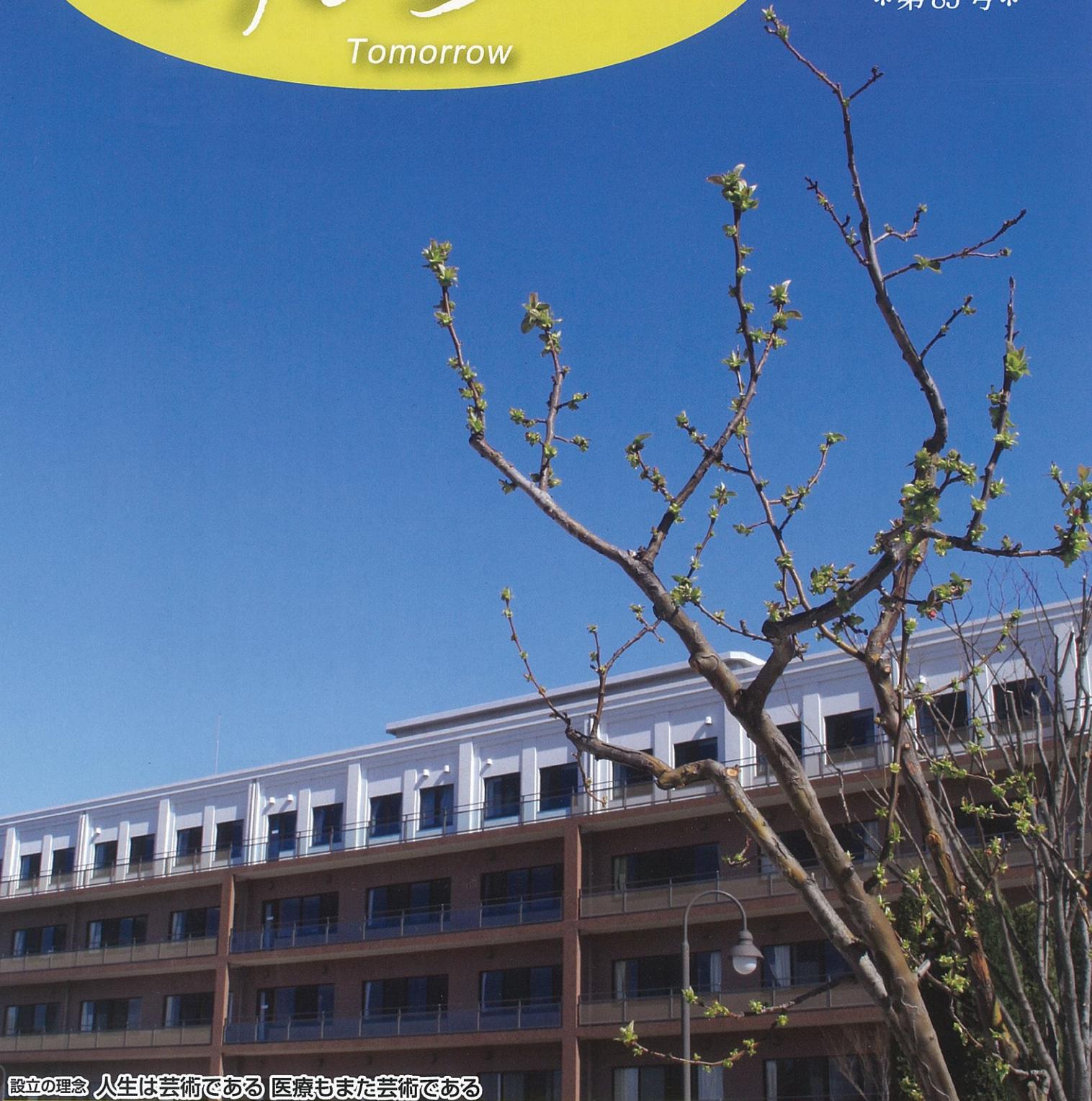


ともじらー

Tomorrow

2017
冬号
第85号



設立の理念 人生は芸術である 医療もまた芸術である

INDEX

特集	地域包括ケア病棟開設	1・2	ふるさと浪漫	9・10
TOPICS	公開講座	3・4	登録医紹介	11
	医療ワンポイントアドバイス	5・6	創立60周年／すこやかコーナー	12
	医療のTQMフォーラム	7	こんにちは／クイズ	13
	中学生職場体験	8	学会発表だより	14

地域包括ケア病棟設置の背景

国は、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目前に、介護が必要な状態となつても、できる限り住み慣れた地域で自分らしく生活し続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指しています。そのシステムの中で、重要な役割を担うのが地域包括ケア病床です。南河内医療圏には地域包括ケア病床が少なく、地域医療に貢献するために、当院にも地域包括ケア病棟を設置することとなりました。

2016年11月より 地域包括ケア病棟を開設しました

特集



●カンファレンス

看護師、理学療法士、ソーシャルワーカーが参加し、急性期病棟より来られた患者様の情報共有を行ったり、退院後にどのような生活環境になるのか、そのためには入院中にはどんな訓練が必要かなど具体的に話し合っています。

このように患者様一人ひとりの生活に合わせて必要な退院支援を検討しています。

安心して退院していただくために

一般病棟で行うような手術や高度な検査や治療には対応していません。病状の変化により集中的な治療が必要と判断されると、一般病棟に移つていただくこともあります。



地域包括ケア病棟(4階西病棟)

整形外科、内科の疾患の患者様が多く入院されています。看護師、看護助手合わせて27名で看護ケアを行っています。

38床

4人部屋 6室
個室 13室
特別室 1室

急性期の入院治療が終了した後、症状はある程度安定しているが、退院して自宅や施設にすぐには戻ることができない患者様が最長60日間の入院療養ができる病棟を地域包括ケア病棟といいます。当院では、2016年11月より4階西病棟(38床)を地域包括ケア病棟として新たに開設いたしました。専従の理学療法士や専任の退院支援職員を配置して、患者様の状態に合わせて安心して自宅や施設へ退院していただけるよう真心をこめた支援を行います。

地域包括ケア病棟って?



当院の公開講座を紹介します！

がん診療拠点病院委員会

數中 健人

当院では地域の皆さんに、健康増進に対する意識を持つていただきました。2012年1月から約40回の公開講座を開催してまいりました。

『2人に1人ががんになる』『3人に1人ががんで亡くなる』というフレーズは日常生活上でも非常によく耳にするのではないでしようか。しかし、がんに罹患しても早期発見することができれば、必要以上に恐れることはできません。市町村などが実施しているがん検診を定期的に受けた、がんを早期に発見できる確率が高く、早期治療が可能になり、治癒の可能性も高くなります。しかし、日本のがん検診受診率は他の先進国と比較しても、非常に低いのが現状です。

当院の公開講座をきっかけに1人でも多くの方に、がん検診の重要性を理解していただき、受診していただければ幸いに思います。

がん以外の公開講座は、アンケートで地域の皆さんがどのような疾病に興味があるのか調査し、皆さまのニーズに沿った講演を開催しています。整形外科の公開講座では、実際の手術療法をイメージしていただきやすいように、人工関節を講堂に展示したり、診療で使用するシップ薬を医師・薬剤師の解説の下お試しいただいたり、理学療法士がストレッチを紹介するコーナー、医師に1対1で相談できるコーナーを設けたりと少しでも多くの方に関心を持っていたけるよう取り組んでおります。

2016年1月9日(水)に、大阪府富田林保健所と共催で『肝臓病』についての公開講座を当院の講堂にて開催しました。

当院の消化器内科部長 福田勝彦が、『肝臓病のABC-Z』というタイトルで講演いたしました。内容は、肝臓の役割・肝臓病の原因・肝臓病に用いられる検査・肝炎の種類などについての解説をいたしました。当日は53名の方がご参加ください、どなたも熱心に講座に耳を傾けられました。また、多くの方より質問があり、参加された皆さまの健康に対する意識の高さを実感しました。

講座終了後には、富田林市立保健センターより『富田林市のがん検診』、大阪府富田林保健所より『保健所の肝炎ウイルス検査と医療費公費負担制度』について情報提供が行われ、こちらの情報提供コーナーにも多くの質問が集まりました。

今回の公開講座は、一人でも多くの方に『肝臓病』について正しい知識を習得してもらい、その他のがんについても早期発見が非常に大切であることをご理解いただき、がん検診に興味を持っていただくことを目的に開催いたしました。



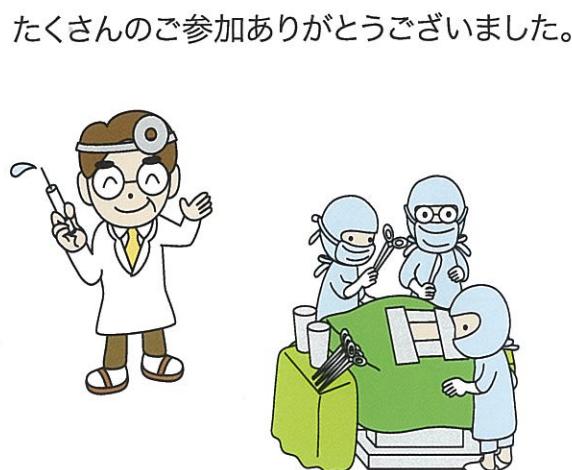
来場者からの質問への回答の様子



富田林保健所からの情報提供の様子



講座を熱心に聞かれているご来場者の様子



たくさんのご参加ありがとうございました。



『ひざの痛みで悩んでいませんか?』
2015.6.11(木)
講座修了後に個別相談を実施しました



『股関節の痛みで悩んでいませんか?』
2015.10.1(木)
理学療法士がストレッチの紹介をしました



『めまいにまつわる目のまわる話』
2014.6.26(木)
176名の方が参加されました



『泌尿器科のがん』
2015.8.18(木)
がんの早期発見の大切さを講演しました

今後も地域の皆さんのお役にたてるように公開講座を開催していく予定です。公開講座は全て無料で、参加申し込みも不要となります。ご興味のある講座がございましたら、お気軽にご参加ください。詳細については、当院ホームページ、病院ニュース、掲示板などでお知らせしておりますので、ご覧ください。

自立支援医療における利用者負担の基本的な枠組み

- ① 利用者負担が過大なものとならないよう、所得に応じて1月当たりの負担額を設定。(これに満たない場合は1割)
- ② 費用が高額な治療を長期にわたり継続しなければならない(重度かつ継続)者、育成医療の中間所得層については、更に軽減措置を実施。

所得区分	更生医療・精神通院医療	育成医療	重度かつ継続
一定所得以上	対象外	対象外	20,000円
中間所得	医療保険の高額療養費※精神通院の殆どは重度かつ継続	10,000円	市町村民税235,000円以上
中間所得1	5,000円	5,000円	市町村民税33,000円以上235,000円未満
低所得2	2,500円	2,500円	市町村民税課税以上235,000円未満
低所得1	0円	0円	市町村民税課税以上33,000円未満
生活保護			市町村民税課非課税(本人収入が800,001円以上)
			市町村民税課非課税(本人収入が800,001円以下)
			生活保護世帯

「重度かつ継続」の範囲
 ○疾病、症状等から対象となる者
 　　[更生・育成] 腎臓機能・小腸機能・免疫機能・心臓機能障害(心臓移植後の抗免疫療法に限る)・肝臓の機能障害(肝臓移植後の抗免疫療法に限る)の者
 　　[精神通院] ①統合失調症、躁うつ病・うつ病・てんかん、認知症等の脳機能障害、薬物関連障害(依存症等)の者
 　　　②精神医療に一定以上の経験を有する医師が判断した者
 ○疾病等に関わらず、高額な費用負担が継続することから対象となる者
 　　[更生・育成・精神通院] 医療保険の多数該当の者

出展:厚生労働省ホームページ「自立支援医療における利用者負担の基本的な枠組み」

【地域医療連携室】
 TEL 0721(24)6100
 受付時間
 月~金 8時30分~17時00分
 土 8時30分~12時30分
 (祝日を除く)

「育成医療の中間所得」
 中間所得1(市町村民税課税以上3万3千円未満)の方の自己負担上限額を5千円に、中間所得2(市町村民税3万3千円以上23万5千円未満)の方の自己負担上限額を1万円とする措置。

自立支援医療制度は、障害をお持ちの方が安心して医療を受けていただくために必要な制度です。この制度を活用することで、利用者は経済的な負担を軽くすることができます。制度についてご不明な点がございましたら、市町村役場の担当窓口や医療ソーシャルワーカーまでご相談ください。

医療ワンポイントアドバイス

自立支援医療制度について



地域医療連携室
医療ソーシャルワーカー
はしづめ よしと
橋爪 祥人

【育成医療】
 身体に障害を有する児童で、その障害を除去・軽減する手術等の治療により確実に効果が期待できる方(18歳未満の方が対象)

申請窓口は?

自立支援医療制度はご存知でしょうか?
 この制度は、心身の障害をお持ちの方が日常生活を過ごしやすくするために、治療を行い障害を除去したり、また、少しでも症状を軽くするためにかかる医療費の自己負担額を軽減する公費負担医療制度のことです。今回はこの自立支援医療制度について説明させていただきます。

【精神通院医療】
 精神保健福祉法第5条に規定する、統合失調症などの精神疾患を持ち、通院による精神医療を継続的に必要とする方

【更生医療】
 身体障害者福祉法に基づき、身体障害者手帳の交付を受けている方で、その障害を除去・軽減する手術等の治療により確実に効果が期待できる方(18歳以上の方が対象)

次の医療が必要な方が対象になります。
 市町村民税の支払額に応じ、利用者の負担額が異なります。

【育成医療】
 厚生労働省が定めている自立支援医療の「重度かつ継続の一一定所得以上」とび「育成医療の中間所得」の区分については、平成27年3月31日までの経過的特例とされていましたが、平成30年3月31日まで延長されています。
 ※経過的特例の内容は以下のとおりです。
 市町村民税の支払額に応じ、利用者の負担額が異なります。

市町村民税23万5千円以上の方で「重度かつ継続に該当する方」について、自立支援医療制度の対象とした上で、自己負担上限額を2万円とする措置。

※経過的特例の内容は以下のとおりです。

市町村民税23万5千円以上の方で「重度かつ継続に該当する方」について、自立支援医療制度の対象とした上で、自己負担上限額を2万円とする措置。

市町村役場の障がい福祉課です。
 ※担当の窓口の名称は、市町村によって異なります。

自立支援医療の経過的特例について

中学生の職業体験を受け入れています!

当院では、子供たちが実際に仕事をしている人と接し、自らも体験することで働くことの意義や、目的の理解、また進路についてより前向きに考えることができるよう地域の中学生を積極的に受け入れています。

今回は、富田林市立明治池中学校の2年生の職業体験の様子をご紹介します。



薬局で薬の計量



臨床工学技士室で浸透圧の測定



患者様を検査室までご案内



岸野くん・上野さん・山崎さん

第18回フォーラム
医療の改善活動全国大会 in 倉敷

2016年10月28日・29日 会場:倉敷市芸文館

今回のフォーラムは、「医療の連続性を求めて～シームレスな医療サービス連携」をテーマに開催され、全国82施設の医療機関から145サークルが改善活動を発表しました。当院から3サークルが発表を行いました。今後も、患者様に寄り添った医療を提供すべく、常に問題意識を持ち、改善活動に取り組んでまいります。

当院の発表テーマ

放射線科 ヤングαサークル
「一般撮影における膝関節軸位撮影方法を改善しよう」

看護部外来 ひまわりサークル
「皮膚科・形成外科の中材器械の管理
～皮膚科・形成外科の中材器械を紛失ゼロにしよう～」

薬剤部 ドロンパサークル
「患者様への情報提供を充実させよう」

スタッフより・・・



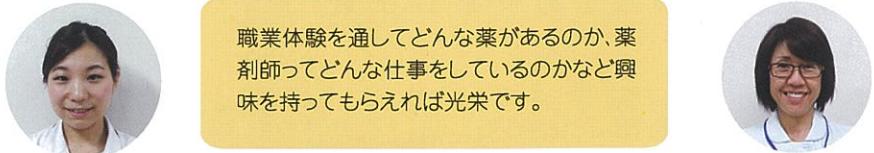
職業体験を通してどんな薬があるのか、薬剤師ってどんな仕事をしているのかなど興味を持ってもらえば光栄です。

薬剤師 西川



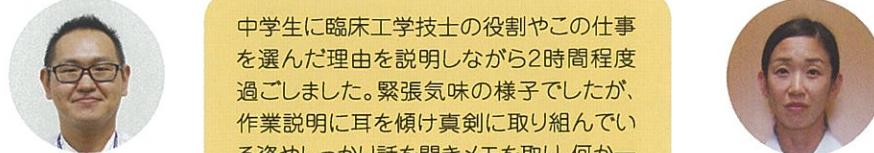
中学生に臨床工学技士の役割やこの仕事を選んだ理由を説明しながら2時間程度過ごしました。緊張気味の様子でしたが、作業説明に耳を傾け真剣に取り組んでいた姿やしっかり話を聞きメモを取り、何かつでも学び取って帰ろうとする姿が印象的でした。

臨床工学技士 児玉



看護助手 黒川

今回職業体験に来られた学生さんと一緒に環境整備や患者さんの検査へのご案内などをしました。患者さんからは「可愛らしいねえ」と言ってもらったり、私たちにも「大変な仕事をされているんですね」と感じてもらいました。将来、医師や看護師を目指しているとのこと、頑張ってほしいと思います。



看護助手 大和

体験していただいた学生さんに将来の夢は?と聞いてみました。医療関係で2つの職種のお仕事に興味があるようでした。体験中も意欲的で楽しそうでした。これからも色々な事にチャレンジして頑張ってください。

フォーラムに参加して

QC事務局・総合受付課 伊堂 嘉一

第18回フォーラムが開催され、初めて参加させていただきました。全国82施設から145の演題が集まり参加者数は約700名という大規模な大会に驚きました。

発表内容は「さすが全国大会だ!」と思わせる、すばらしいものばかりでした。事務職である私は、同じ職種の改善活動に特に興味を持っていました。大学病院でも同じ悩みを抱えていたことに親しみを覚え、その問題解決に奮闘する経緯の発表に圧倒されながら聞き入っていました。様々な努力や創意工夫に心を打たれ、発表資料をいかに見やすくわかりやすく作るかという姿勢にも大いに感心し刺激を受けました。

当院からは3つの演題が発表されましたが、講評者より「PL病院の改善活動の進め方はすばらしい。ぜひ皆さんも見習ったら良いでしょう」と言われたときは、嬉しく、当院の活動方法に自信を持つことができた瞬間でした。

他院の改善活動を知ることができ、とても刺激になり貴重な知識を得られました。この経験を院内の改善活動の推進に生かし、質の高い医療を目指して患者様に親切な病院であり続けるよう微力ながら貢献したいと思います。



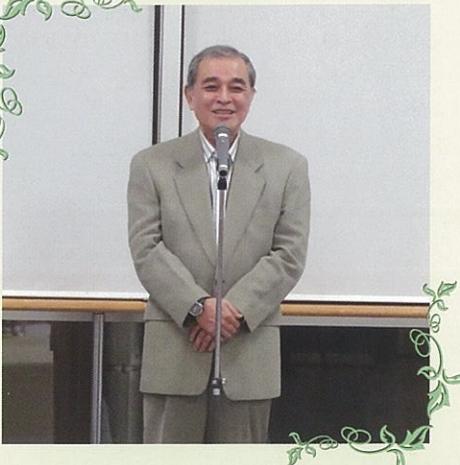
登録医紹介

Introduction of Registration Doctor



創立 60周年を迎えたました

TOPICS



2016年11月1日(火)で当院は創立60周年を迎えました。

創立記念式典では橋本院長より、「新しく地域包括ケア病棟も増え、これからも患者様に選ばれる病院になるために心一つに取り組みましょう」とお話をありました。

急速に進歩し続ける医療に、全職員が、質の高い医療を提供できるよう研鑽し、チーム医療を一層充実すべく、思いを新たにいたしました。

P L 病院では登録医制度を設け、登録医の先生方と密接な連携を図ることにより、地域医療の充実に努力しています。2017年1月1日現在、233名の先生方が当院に登録されています。P L 病院登録医の先生方を当誌面で順に紹介させていただきます。

Registration Number 0124



くにさだ けいた
院長 國定 慶太 先生

患者様へひとこと

異常所見がみとめられた方には、P L 病院をはじめとして地域の基幹病院さんへ積極的にご紹介させていただいております。

いりょうほううじんとんきかい
医療法人富喜会 いいん

診療科 内科、循環器科、消化器科、アレルギー科、内分泌科(糖尿病)

可能な検査

胃カメラ、腹部エコー、心エコー、動脈エコー、甲状腺エコー、頸部エコー、ホルター心電図、一般レントゲン、心電図、肺機能検査、睡眠時無呼吸検査、24時間血圧測定

受付・診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
16:00~19:00	○	○	○	×	○	×

休診日 木・土午後、日、祝

在宅診療 往診あり

特記事項

私たちは患者様お一人おひとりの想いを大切にし、お身体(おからだ)を癒し、笑顔をいただける医療を目指します。



〒584-0005
富田林市喜志町3-7-5
TEL 0721-24-0330
<http://www.kunisada-clinic.jp>

アクセス 駐車場あり(6台)
近鉄長野線 喜志駅下車 東出口徒歩2分
藤和喜志ハイタウン1階 芸大バス停近く

Registration Number 4027



ふじもと まさし
院長 藤本 雅史 先生

患者様へひとこと

私たちが目指すのは「地域の皆さんに信頼されるかかりつけ医」です。そのためには患者さん一人ひとりの健康上の悩みや不安に真摯に向き合い、納得いただけるうえで治療を受けていただけるよう、わかりやすい丁寧な説明を心がけております。お気軽にご相談ください。

いりょうほううじんとんきかい
ふじもと医院 いいん

診療科 内科、消化器内科、外科

可能な検査

胃カメラ、エコー検査、尿検査、心電図、血圧脈波検査(動脈硬化検査)、血液検査、レントゲン、骨密度検査

受付時間	月	火	水	木	金	土
診療時間						
8:45~12:00	○	○	○	○	○	○
9:00~12:00						
16:15~19:30	○	○	×	○	○	×
16:30~19:30						

休診日 水・土午後、日、祝

在宅診療 ご相談ください

特記事項

最近話題のヘルコバクター・ピロリ菌の感染診断や、必要な方には除菌療法もおこなっております。ぜひ一度ご相談ください。



〒583-0886
羽曳野市恵我之荘5-1-28 カネシンビル1階
TEL 072-931-5611
<http://fujimoto-iin.byoinnavi.jp/pc/>

アクセス 提携コインパーキングあり
近鉄南大阪線 恵我ノ荘駅下車 徒歩1分

- ◆Hip&Pelvis Cadaver Course
「CASE PRESENTATION」
10月1日～3日 シドニー 整形外科 医師 稲葉 陽一郎
- ◆第50回日本小児内分泌学会学術集会
「乳製品除去によるカルシウム欠乏性くる病と考えられた男児例」
11月16日～17日 東京都 小児科 医師 今村 卓司
- ◆第22回日本HDF研究会学術集会
「定圧濾過オンラインHDFの臨床評価」
10月1日～2日 甲府市 臨床工学技士室 臨床工学技士 呂玉 健一郎
- ◆第30回日本泌尿器内視鏡学会総会
「F-TULでの還流用フットペダルの有用性の検討」
11月17日～19日 大阪市 泌尿器科 医師 園田 哲平
- ◆第57回日本母性衛生学会総会・学術集会
「流産を経験した患者の悲嘆感情に寄り添った精神的ケアを考える
一効果的なグリーフケアをおこなうためにー」
10月14日～15日 東京都 4階東病棟 助産師 亀井 真子
- ◆第43回日本超音波医学会関西地方会学術集会
「胎児超音波検査で確認し得た先天性内反足の一症例」
10月29日 大阪市 中央臨床検査部 臨床検査技師 井西 千晶
- 「繰り返す炎症と多発する憩室を伴った虫垂粘液囊腫の一例」
中央臨床検査部 臨床検査技師 錦 昌吾
- ◆第106回近畿血液学地方会
「多発皮下腫瘍として発症した隨外性形質細胞腫」
10月29日 大阪市 臨床研修医室 臨床研修医 岩村 陽裕
- ◆第43回日本小児臨床薬理学会学術集会
「薬剤師の介入により多形紅斑の原因究明に寄与した一症例」
11月11日～12日 東京都 小児科 医師 西村 章
- ◆第36回近畿作業療法学会
「慢性期で機能低下を呈するも目標に向けて意欲を持てた一症例」
11月13日 和歌山市 リハビリテーション科 作業療法士 森 貴大
- ◆第78回日本臨床外科学会総会
「憩室内結石を伴った十二指腸憩室穿孔の一例」
11月24日～26日 東京都 外科 医師 塚本 義貴
- ◆第19回日本腎不全看護学会学術集会
「透析未体験である看護師が職場に適応するまでの指導方法の検討
ー語り合いの場面からストレス体験を明らかにしてー」
11月26日～27日 大阪市 腎センター 看護師 中田 雅子

編集後記

先日、作成スタッフより記事作成を楽しく感じられるようになってきたとの声があり、大変嬉しく思いました。作成には苦労することがありますが、それ以上に楽しさや喜び、達成感なども感じられます。これからも皆で力を合わせてとうもうろーを作成していきますので、よろしくお願ひいたします。

すべてのあて先は

〒584-8585
PL病院「とうもうろー」係
(住所記入不要)

クイズの答えや「とうもうろー」へのご意見、ご感想をどしどし、ご応募ください。宛先は上記のとおりです。

こんにちは!



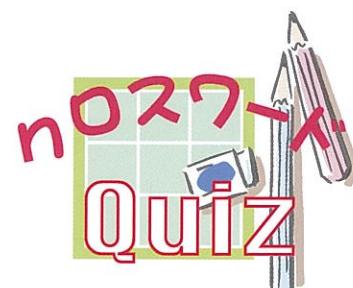
薬剤部 いとうともかず
薬剤師 伊藤 友一

こんにちは。今年6月から薬剤部で勤務しています伊藤友一です。入職してから業務を覚えることに奔走し、あっという間の半年でした。一方で、休日は心身をリフレッシュすることを忘れずに、地域の人達とバドミントンで汗を流したり息子と公園へ行ったりと、体を動かして公私ともに充実した日々を送っています。

さて、私のいる薬剤部では医師が発行する処方箋に基づいて、入院および外来の患者様のお薬を調剤しています。調剤はただ単にお薬を集めているだけではありません。お薬の飲み合わせが悪くないか、お薬の量が適切かどうかなど、お薬を飲む患者様の不利益にならないように処方箋の内容を確認し、内容に疑問があれば医師に確認するようにしています。このように正確な調剤を心がけていますが、時間帯によっては外来患者様にお薬をお渡しするまでかなりの時間がかかることがあります。非常に申し訳なく思っています。そんな毎日を送っている中で、先日長い時間お待たせしてしまったにも関わらず、「いつもありがとうございます」と声をかけていただき、心温まる経験をしました。この経験を忘れることなく、

今自分が薬剤師としてできる最善策は何かを常に考えて、日々の業務に取り組んでいきたいと思います。

調剤だけではなく、お薬の説明の際には疑問や不安をお伝えいただき、二人三脚で治療に取り組めるような頼りがいのある薬剤師に成長していきたいと思います。何かお薬でお困りの際には、お気軽に声がけください。



◆クロスワードを完成させ、黄色のマス目に隠されたキーワードをお答えください。
正解された方の中から抽選で素敵なプレゼントをお贈ります!

【応募方法】

官製ハガキに「答え、住所、氏名、年齢、本誌へのご意見・ご感想」をご記入の上、14ページの宛先へ郵送して顶ければ、玄関エントランスホールのご意見箱に入れてください。当選された方の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

■締切:2017年4月20日 消印有効

よこのカギ

- 性別を区分する時に男性を表します
- お出かけの際は○○の閉め忘れに気をつけましょう
- お粥の上澄み液で離乳食にも適しています
- おかげさまで当院は○○○○60周年を迎えました
- 芥川龍之介作、『○○の糸』
- 大宮一新潟間を結ぶ新幹線の名称

たてのカギ

- 年末恒例。隅々まできれいにしましょう
- 日本の国技で名古屋・大阪・福岡でも開催されます
- 元素記号はAgで消臭効果もあります
- ヤマ○○、ヒメ○○、オニ○○
- 数え方として台、脚、卓などがある家具
- 鍋料理や煮物にも使われる臓物

こたえ ○○○○○

前号の正解は次のとおりです。
当選者の発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。
前回のキーワードは
『ゴーギャン』でした。

1	2		3	4
5		6		
7			8	
			9	10
11				

医療用語 豆知識

「医療用語は専門的で難しい」とお考えの方が多いのではないでしょうか?
ここでは、知っておくと役に立つ医療用語を毎号紹介しています。
皆様からも「こんな医療用語を教えてほしい」と思われるものがありましたら、お便りでお知らせください。

化学療法

化学療法とは、化学物質(抗がん剤)を用いてがん細胞の分裂を防ぎ、がん細胞を破壊する治療法です。三大療法と呼ばれるがん治療のうち、外科治療や放射線治療が、がんに対する直接的・局所的な治療であるのに対し、化学療法は、より広い範囲に治療の効果が及ぶことが期待できます。しかし、抗がん剤の多くは体のなかの正常な細胞にも作用するため、それが副作用となって現れます。

副作用の主な症状は吐き気・脱毛・白血球減少ですが、副作用の起りやすさと症状の種類は抗がん剤の内容によって違います。また、個人差もあります。



● 化学療法の種類 ●

抗がん剤は飲み薬や点滴・注射などいろいろな種類があります。がんの種類や状態、また個々の患者さんの状態にあわせて、最適な抗がん剤治療を行います。がん細胞に対してより効果を発揮するために、作用が異なる抗がん剤を組み合わせて用いることもあります。

